

ハグ 避難所運営ゲーム(HUG)研修レポート

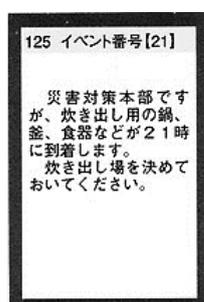
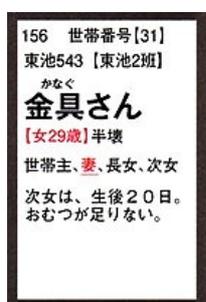
令和7年7月13日(日)大矢知地区市民センターで、参加者40名を6班に分けて大矢知興譲小学校、暁小学校、あさけプラザの避難所図面を用いて、NPOみえ減災啓発支援ネットワークの指導により、避難所運営ゲームを行いました。

○ HUGゲームの内容

避難者の年齢、性別、国籍などそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館、教室や校庭に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるのか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応するかを疑似体験するゲームです。

参加者はこのゲームを通して要援護者へ配慮しながら部屋割りを考え、炊き出し場や仮設トイレの設置場所を考え、マスコミの取材対応といった出来事にどのように対応するかを思いのまま意見を出し、話し合いながら避難所の運営を学びます。

「HUGカードの一例」



「カードの配置例」



ゲーム風景



・ゲーム詳細については、「避難所運営ゲームHUGをやってみよう 報告書」を参照